

いわき農林水産ニュース

ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま

令和6年7月号

vol.233

発行日

2024/7/25

写真について
詳しくは
p.12を
チェック!

- 01 いわき市産GAP認証農産物のPRイベントを開催!
- 02 ヒラメ種苗放流
- 03 各種取組の実績(6~7月分)
- 07 令和6年産米の高温対策を行いましょ!
- 08 高校生発!Iwakiならではのグルメをつくろう優秀レシピ紹介
- 09 お知らせ
- 09 いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果
- 09 いわき地方の出荷制限等品目
- 09 福島県森林環境税アンケート調査ご協力をお願い
- 10 食品表示法あれこれ
- 10 食品表示法研修会を開催します!
- 11 「いわきなし」と「いわきねぎ」を撮って、味わおう。
- 11 6次化商品紹介

特集

いわき市産GAP認証農産物のPRイベントを開催!

1 「おいしい ふくしま いただきます!」キャンペーンを開催!

6月22日(土)、マルトSC平子店において、今年度第1回目の「おいしい ふくしま いただきます!」キャンペーンを開催しました。

本キャンペーンは、いわき市産農林産物の安全性やおいしさなどの魅力を消費者に直接伝えるとともに、生産者のGAPの取組を紹介し、GAP認証農林産物の購買意欲を高めることを目的としています。

当日は、マルトSC平子店の協力のもと、ミニトマトの試食、トマト料理の実演・試食会、GAPに関するアンケートを実施しました。アンケート回答者には、いわき市産ミニトマト(GAP認証



▲ ミニトマトの試食

品)、県内の農業高校等で生産したGAP認証米「#青春GAP米」のパックご飯をプレゼントしました。



▲ トマト料理の実演
(ダイニングキッチン月海 今野シェフ)



▲ 「トマトめんつゆのサラダそうめん」
暑い夏にピッタリ!



▲ プレゼント品

2 GAP認証に関するアンケート結果

今回のアンケート調査は、185名の方に回答いただきました。GAPについて「知っていた」「名前だけは知っていた」と回答した方が55%と、昨年度に引き続き参加者の過半数を超え（R4:44%、R5:56%）、GAPへの知名度が着実に高まっていることがわかりました。

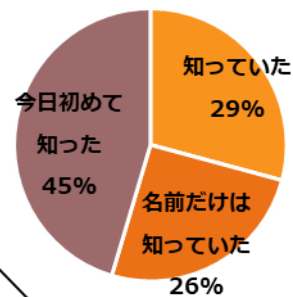
また、約9割の方が「県産の農林産物を積極的に購入している」と回答し、地産地消の意識の高さが伺える結果となりました。



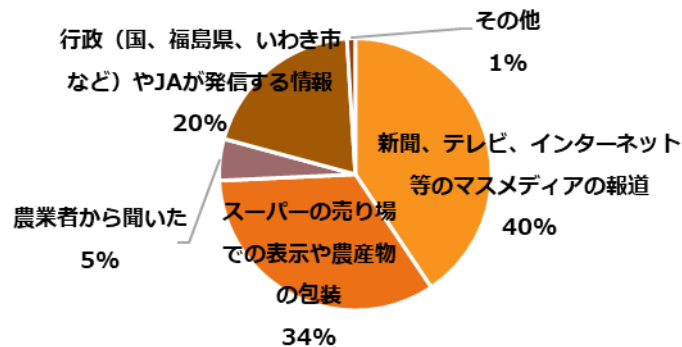
▲ アンケート回答の様子

主なアンケート結果

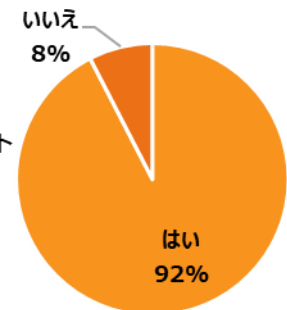
●このイベントまでにGAPをご存じでしたか？



●どのようにしてGAPについて知りましたか？



●普段、福島県産の農林産物を積極的に購入していますか？



4 おわりに

当初では、引き続き市内量販店や関係機関と連携し、様々な手段を活用しながら、いわき市産農林産物やGAPのPRに取り組んでまいります。（企画部・農業振興普及部）

Topic

ヒラメ種苗放流

7月16日から26日にかけて、いわき市沿岸の4地区（久之浜、四倉、沼之内～江名、小名浜～勿来）に『ヒラメの種苗』（概ね10cm）を約45万尾放流する予定です。

海の生き物は限りある資源であり、無秩序に獲るだけでは減ってしまう一方です。福島県では各地区の漁業者の協力を得て、ヒラメ種苗放流を毎年継続的に実施することにより、「つくり育てる漁業（栽培漁業）」に取り組んでいます。

また、福島県の資源管理型漁業の取組として、ヒラメは全長30cm未満の水揚げが禁止されているほか、いわき地区では業界の自主的な取組としてさらに厳しい全長40cm未満のヒラメの水揚げを制限するなど、高い資源管理の意識をもってヒラメ資源が利用されています。



▲ 放流するヒラメ種苗

こうした地道な取組もあり、令和5年のヒラメの水揚げ量は過去最多の846トンを記録しました。「常磐もの」の代表である福島県産ヒラメを見かけた際は、ぜひご賞味ください。（水産事務所）

適切なため池の管理のために～千軒平ため池草刈り作業～

6月14日(金)

いわき管内には、数多くのため池があり農業用水として利用されていますが、なかでも管内屈指の代表的なため池として、千軒平ため池が挙げられます。

千軒平ため池は、四倉地域の水田約570haに農業用水を供給する堤高25.5m、堤長127m、貯水量865.4千 m^3 のアースダム^{*}です。

千軒平ため池では、田植え作業が一段落したこの季節に、ため池堤体の草刈り作業を行っています。

当日は、千軒平溜池土地改良区の組合員5人により作業が行われました。

ため池の草刈り作業といえば、円盤に刃の付いた草刈り機を肩に掛け、人が斜面に立って作業を行っていますが、本ため池では、ラジコン式の草刈り機2台(とまとランドいわきより寄贈)で作業を行っています。

ラジコン式の草刈り機は令和3年に導入され、導入前は約15人で1日作業でしたが導入後は4時間程度で作業が完了しており、大幅な労力軽減と作業時間の短縮が図られています。加えて、これまでの草刈り作業は、斜面で足を滑らせたり、刈刃に人が接触し大事故につながる可能性があるなど大きなリスクがありましたが、ラジコン式草刈り機は離れた場所から操作できるため、安全性の面でも大きなメリットがあります。

草刈りは、9月にも行われる予定で、一年を通して堤体の変位や漏水の確認など日常点検がしやすい状態が維持できるよう努力がされています。

管内の他ため池においても、千軒平ため池の取組が参考になれば幸いです。

(農村整備部)

^{*}アースダム：土を盛りたてて築造されたダム



▲ 千軒平ため池



▲ 草刈り作業状況

いわき市内団共長連絡協議会総会及び事業推進会議

6月19日(水)

いわき市中央台公民館において、いわき市内団共長連絡協議会の第41回通常総会及び事業推進会議が開催されました。

当協議会は、いわき市内の団地共同森林施業造林組合の長が構成メンバーとなり、林業に関する研修・先進地視察活動や、山火事防止のための啓発活動、いわき市森林組合の林業コンクールへの参加など、いわき市内各地域の林業を推進するために活動されています。

通常総会の後に併催された事業推進会議では、当所森林林業部の職員が今年度の森林整備関係事業の内容と実施上の留意事項、スギ花粉発生源対策事業や森林施業の低コスト化といった最近の林業関係施策の動向などについて説明を行いました。

内容について様々な質問の声が上がるなど、造林組合長の皆さまの地域林業に対する熱意が感じられる会議となりました。

(森林林業部)



▲ 通常総会の開催状況



▲ 事業推進会議での職員による説明

第1回いわき農業普及推進懇談会

6月25日(火)

いわき農業普及推進懇談会は、農業者、関係機関・団体等の意見・要望を普及指導活動等に反映させ、効率的な活動を実施することを目的に、毎年2回開催しています。

当日は、今年度の普及指導計画やこれまでの取組などを説明した後、それぞれの立場から御意見、御助言をいただきました。

その後の現地視察では、認定新規就農者の渡邊さんが6月に開園したブルーベリーファームいわきを訪問し、就農に至るまでの経緯や、観光ブルーベリー農園の経営について話を伺いました。

懇談会でいただいた御助言等は、今後の普及指導活動に活かしてまいります。

2回目の懇談会では、今年度の活動実績と次年度計画について検討する予定です。 (農業振興普及部)



▲ 懇談会の様子



▲ ブルーベリーファームいわき

大野種子生産組合の水稲種子ほ場審査を実施

6月26日(水)

令和6年産水稲種子生産ほ場審査(大野種子生産組合)を実施しました。

いわき市四倉町大野地区では毎年水稲の種子を生産しており、今年は33.9ha(コシヒカリ:7ha、天のつぶ:26.9ha)が作付けされています。

今回の検査では、水稲種子が適正に生産・流通されるため、病気(ばか苗病等)、異型や雑草がないこと等を確認しました。

種子場の生産者は夏の暑い中、病気や異型の苗の抜きとり・雑草処理を行い、品質の良い種子が生産できるよう頑張っています。

当所では引き続き審査・指導を実施し、高品質な種子の供給ができるよう支援してまいります。

(農業振興普及部)



▲ 審査でほ場を回る普及部職員



▲ 大野種子生産組合長あいさつ



いわき地方フラワーネットワーク花育事業を開催 7月2日(火)、3日(水)

いわき地方フラワーネットワークの花育活動として、7月2日に市立三和小学校5、6年生25名、7月3日に市立錦東小学校6年生28名を対象に、福島県の花き生産状況の紹介と、市内産花き等を用いたフラワーアレンジメント体験教室を行いました。

本事業は、花が身近なところで生産されていることを知っていただき、花に親しみをもって生活の一部に取り入れてもらうことを目的に、令和4年度から実施しています。

児童は、市内生花店の講師からアレンジメントの基本形を学んだ後、それぞれが自由な発想のもと、大胆に茎や葉など、花以外の部分も無駄なく使い、個性豊かなアレンジメントを作り上げました。

開催後のアンケートでは「またやってみたい」「楽しかった」等の感想をいただきました。当所では、引き続き花きの消費拡大に向け支援していきます。 (農業振興普及部)



▲ 講師と共にバランスを考えて



▲ 笑顔でポーズ

福島県園芸振興プロジェクトいわき地方園芸振興推進会議を開催 7月4日(木)

県では、農業の成長産業化を推進するため、収益性の高い園芸品目10品目を選定して「生産力の強化」、「競争力の強化」を課題解決の取組視点として掲げ、振興プロジェクトに取り組んでいます。いわき地方では「日本なし」「トマト」「りんどう」「トルコギキョウ」の4品目が選定されています。

会議には、市、全農、JA、農林事務所の担当者が出席し、プロジェクト品目に加えて、いわき地方での重点品目である「いちご」「ねぎ」の作年度実績、今年度計画について意見を交わしました。また、園芸品目生産に取り組む新規就農者等の情報、「いわき・ねぎならではプラン」実現のための補助事業、みどり認定等、園芸振興に係る各種情報を共有しました。

当所では、引き続きこれらの品目を中心に、園芸振興を強化してまいります。 (農業振興普及部)



▲ 会議の様子

スマート農業社会実装推進事業現地検討会

7月4日(木)

いわき地域のスマート農業の推進に向けて、「なしジョイントV字トレリス栽培」の現地検討会を開催しました。「なしジョイントV字トレリス栽培」は、なし栽培の早期成園化と生産性向上、作業省力化が図れるスマート農業等技術です。

検討会には、梨部会生産者や関係団体を含め約30名が参加し、当所果樹担当が「ジョイントV字トレリス栽培」の栽培方法のポイントや導入効果、品種毎の適性、これまでの実証ほの実績について説明しました。

園主の根本大我さんは、「ジョイントV字トレリス栽培は作業姿勢が従来よりも楽で、身体への負担が少ない」と話され、他の梨部会生産者も非常に感心が高く、技術導入効果や品種の適応性について質問がありました。

当所では引き続き、「なしジョイントV字トレリス栽培」の導入や栽培の支援を実施し、なしの収量・品質向上を目指してまいります。
(農業振興普及部)



▲ 当所職員による「ジョイントV字トレリス栽培」の説明



▲ 他生産者と意見交換する根本氏

いわき地方GAP推進協議会を開催

7月9日(火)

県いわき合同庁舎において、今年度1回目となるいわき地方GAP推進協議会を開催しました。

構成員である株式会社平果、株式会社マルチ商事、JA福島さくらいわき統括センター、いわき市とともに、管内の認証GAP取得状況や本年度の活動状況、GAP推進に向けた課題について協議しました。

出席者からは、「GAPのメリットを生かすためには、大規模経営体に取得を薦めるべき。」「GAP認証農産物の流通量が少ないので、店としては棚構成が難しい。もっとGAP品を増やしてほしい。」等、改めて課題が浮き彫りとなりました。

引き続きいわき地方GAP推進協議会では、関係機関と連携して、GAP認証農林産物の生産量拡大と認知度向上に努めてまいります。
(農業振興普及部)



▲ 協議会の様子

林業アカデミー短期研修「提案型集約化施業実践」 7月9日(火)、10日(水)

県内で活動する森林施業プランナーや自治体職員を対象にした主伐・再造林の取組に関する研修会が三和町で開催されました。

1日目は、大地俊介代表（スギサチ林業事務所・宮崎県）や齋藤仁志教授（岩手大学）など豪華な講師陣を迎え、再造林の先進的な取組や施工に当たって検討すべき項目等に関する講義が行われました。また、当所から再造林に対する県の支援制度について紹介し、計画的な主伐・再造林の実施について働きかけを行いました。

2日目は、主伐・再造林の一貫作業実施箇所での現地研修が行われ、その結果を踏まえたグループワークでは、参加者間の積極的な意見交換が行われました。

管内の人工林の多くが、主伐に適した林齢を迎えています。当所では「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源のサイクルを実現するため、研修内容を活かした情報提供や各種支援を行ってまいります。
(森林林業部)



▲ 県の支援制度を紹介



▲ 一貫作業実施箇所での現地研修

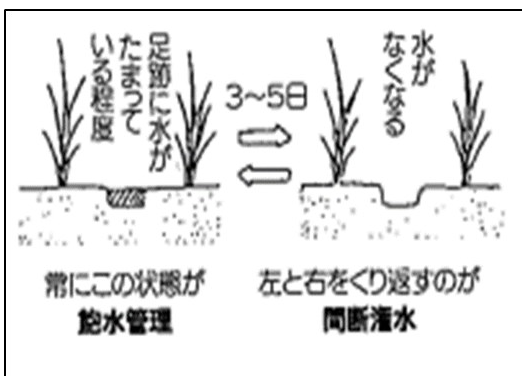
Topic

令和6年産米の高温対策をいしましょう！

令和5年産米は、出穂期以降の高温の影響で、白未熟粒が多発したことで、いわき地方の米の1等米比率が57.5%（カントリーエレベーター分除く）となりました。

令和6年産米も、出穂期以降に高温に遭遇した場合には、飽水管理や掛け流し等の水管理を実施するとともに、葉色が低い時（目安：SPAD値33未満）は窒素2kg/10a程度を追肥する等の対策を検討してください。

また、高温により刈取適期が早まることも想定されますので、出穂期後の積算気温に留意して適期刈取に努めましょう。
(農業振興普及部)



▲ 飽水管理の図



▲ 【参考】農業技術情報第4号 令和6年7月10日
福島県農林水産部農業振興課発行
『高温条件下における農作物等の技術対策』

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/642377.pdf>

高校生発! Iwakiならではのグルメをつくろう

4

優秀レシピ紹介 vol.

昨年度、地元農産物の魅力を発信するため、市内の高校生と飲食店等が共同でいわきならではのグルメを開発した「高校生発！ Iwaki ならではのグルメをつくろう」。

今回は応募のあったレシピの中から、Delica Cafe Kibaco のおすすめレシピをご紹介します！
当所ホームページにてレシピ公開中 ⇒⇒⇒



米部門
おすすめ
レシピ
Delica Cafe
Kibaco

ガパオ風ライス丼

桂木 寧々さん
福島県立磐城農業高等学校 3年
(応募時)
調理時間：40分
食材費(2人分相当)：500円

材料

豚ひき肉	200g
長ネギ	20g
ピーマン	30g
にんじん	30g
ご飯 (Iwaki Laiki)*炊飯済	400g
卵	2個

(調味料)

ごま油	10g
にんにく	10g
しょうゆ	大さじ2
酒	大さじ2
みりん	大さじ1
砂糖	大さじ2
ラー油	適量
こしょう	少々

作り方

- ① 長ネギ、にんじん、ピーマンはみじん切りにする。
- ② 熱したフライパンにごま油をひき、①を炒める。
- ③ 豚ひき肉を加え、にんにく、しょうゆ、酒、みりん、砂糖を入れてさらに炒める。(ラー油もお好みで合わせる)
- ④ 目玉焼きをつくり、こしょうをふる。
- ⑤ お皿にご飯を盛り、③と④を盛りつけて完成。

作品のPRポイント

嫌いな子が多いピーマンを取り入れ、味や食感を感じさせることなく栄養を摂ることのできる一品にしました。また、幅広い年代の方々にも楽しんでもらえる味を、今どきの高校生や中学生にもウケる見た目に入れしました。

【レシピを参考に作ってみた！】

長ネギとピーマンはいわき産を使用し、彩りのために赤パプリカを追加。辛いものが大好きなので、トウガラシ入りのラー油をたっぷり混ぜました。いつものガパオライスよりも具沢山の、大満足一杯でした。(W・S)

- 8 -

お知らせ

いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果(令和6年6月分)

農林畜産物の検査結果

令和6年6月の農林畜産物モニタリングでは、11品目17検体を検査し、全ての検体について放射性セシウムは検出されませんでした。内訳は(表1)のとおりです。(企画部)

(表1) 品目と検体数

トマト(施設)1、ダイコン1、サヤインゲン(施設)1、タマネギ1、パレイショ1、小麦1、大麦1、玄そば1、菌床きくらげ(施設)1、牛肉7、原乳1

海産魚介類の検査結果

令和6年6月の水産物モニタリング検査では、168検体の海産魚介類を検査し、全ての検体について放射性セシウムは検出されませんでした。(水産事務所)

いわき地方の出荷制限等品目

令和6年6月末現在、いわき地方の農林畜水産物のうち、出荷制限等の対象となっている品目は(表2)のとおりです。出荷制限等品目は、出荷・販売だけでなく、宿泊施設等での提供や加工用原材料として使用することもできません。また、自主検査等により基準値(100Bq/kg)以下であっても出荷・販売はできませんのでご注意ください。(企画部)

(表2) 農林畜水産物の出荷制限等品目(令和6年6月末現在)

制限、自粛	区分	品目
出荷制限	山菜	たけのこ、ぜんまい、たらめ(野生のものに限る)、わらび(野生のものに限る) ^{※1} 、こしあぶら
	きのこ	原木なめこ(露地)、野生きのこ ^{※2}
	海産魚介類	クロソイ
出荷自粛	山菜	さんしょう(野生のものに限る)

※1 わらび(栽培)で出荷・販売できるものは、安全性が確認された場合で生産されたものに限ります。(市内該当生産者20名のみ)

※2 野生きのこは、摂取も制限されています。

福島県森林環境税アンケート調査ご協力をお願い

福島県森林環境税とは、水源のかん養や県土の保全など、私たちの生活に様々な恵みをもたらす森林を全ての県民で守り育て、次の世代に引き継いでいくため、平成18年度から県が導入した県税です。森林の整備や花粉の少ない苗木づくりなどの取組の支援や、植樹イベントや森林環境学習などの森林を守り育てる意識を上げる取組に活用しています。

今後の福島県森林環境税の取組の参考させていただくため、県民の皆さまからの貴重なご意見をお聞かせください!(森林林業部)

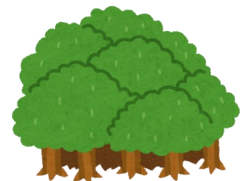
アンケート回答はこちら

実施期間

令和6年8月30日(金)まで



よろしくお願ひします



福島県森林環境税 アンケート



食品表示法あれこれ ③特色ある原材料の表示

加工食品の包装には、原材料の産地や栽培・製造方法、銘柄などを強調して表示し、一般的な名称との差別化を図っているものがあります。この場合、消費者の誤認を防ぐため、食品表示基準第7条に定められた表示の方法に従う必要があります。

1 特色ある原材料に該当するものの例

特定の原因、製造地等のもの	・国産大豆使用 ・いわき市産トマト使用	・イタリア製造のチーズ使用 等
特別な栽培方法等によるもの	・有機栽培ニンジン使用 ・特別栽培米使用	・栽培期間中農薬不使用のエゴマを使用 等
品種、銘柄、ブランド名	・福島牛使用 ・福、笑い使用	・ふくはるか使用 ・本マグロ入り 等

他にも、非遺伝子組換えの農産物についてなど、他との差別化を図る意図がある場合に該当します。なお、既に一般的な名称として定着している名称や、独自の製造方法について強調する場合、「特色ある原材料」の表示には該当しません。(例：抹茶使用、黒酢使用、もち米四段仕込 等)

2 表示方法

特色ある原材料の表示を行う場合は、原則としてその製品に含まれる**特色ある原材料の使用割合を明示**する必要があります。以下に例を示します。

例

新商品の原材料に、いわき産のサンシャイトマトを20%使用したトマトピューレを使用し、それを強調したい場合。なお、トマトピューレ以外の原材料にトマトは使用されていない。

表示方法①

容器包装の強調表示されている部分に使用割合を表示

→「トマトピューレのうち、いわき産サンシャイトマトを20%使用」

表示方法②

一括表示の原材料名欄において使用割合を表示

→原材料名：○○（国内製造）、▲▲、トマトピューレ（いわき産サンシャイトマト20%）、…

なお、使用割合が100%の場合は、使用割合の表示をする必要はありません。

(企画部)

食品表示法研修会を開催します！

令和6年度食品表示法研修会を、下記により開催します。今回は、食品表示法に関することに加え、食品の広告や販促に関する規制についても理解を深めていただくため、景品表示法についての研修も行います。

ぜひご参加ください！

(企画部)

1 開催概要

日時：令和6年8月30日（金）13:00～16:00

会場：福島県いわき合同庁舎 4階大会議室

2 対象及び定員

いわき市内の食品関連事業者、先着40名

(要事前申込)

▼研修会の詳細と参加申込はこちらから！▼

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/iwnorin-k-top.html>



「いわきなし」と「いわきねぎ」を撮って、味わおう。

いわき産なしやねぎの魅力を消費者の皆さまに知っていただくため、「いわきなし&ねぎフォトコンテスト」を開催します！

テーマは「いわきなし」と「いわきねぎ」。
 いわき産なしやねぎの魅力が伝わる写真を募集します。
 たくさんのご応募お待ちしております！

■応募期間：8月1日（木）～12月31日（火）

■応募方法

〈InstagramまたはFacebookからの応募〉

①InstagramまたはFacebookの公式アカウント

「福島県いわき農林事務所」をフォロー。

②「いわきなし」または「いわきねぎ」が写った写真を撮影。
 (加工品も可)

③ハッシュタグ「#いわきなしアンドねぎフォトコンテスト」及び「タイトル」をつけて応募写真を投稿。

〈メールからの応募〉

タイトルを記載したメールに写真を添付し、kikaku.af07@pref.fukushima.lg.jp宛てに送信。

■賞品：「いわきの魅力詰め合わせBOX」

・いわきなし賞、いわきねぎ賞（各1名様）

いわき産「福、笑い」新米4kg+いわき自慢の6次化商品セット（計6,000円相当）

・特別賞（抽選で20名様）

いわき産「福、笑い」新米300g+いわき自慢の6次化商品（計2,000円相当）

■主催・お問い合わせ：福島県いわき農林事務所 企画部（TEL：0246-24-6197）

※注意事項などの詳細については、当所HPをご覧ください。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/itakyan-photocon2024.html>

（企画部）



こだわりと美味しさがつまった
 いわき自慢の6次化商品をご紹介します

農業法人ファゼンダでは、サツマイモの生産・販売を行うほか、干し芋やハチミツの販売をしています。さらに、4月から、自社生産のサツマイモ「べにはるか」を使った焼き芋焼酎「恋どろぼう」を発売しました。

あまり馴染みのない焼き芋焼酎。焼き芋ならではのコクとほのかな甘さ、通常の芋焼酎と比べて芋の香りが控えめなのが特徴です。「恋どろぼう」はほんのり甘みのある味わいとすっきりした芋の味わいを楽しめる本格焼き芋焼酎です。香りと味のバランスを調整しているのは麴と蒸留方法。濃い味わいを生み出す黒麴を醪とする一方で、減圧蒸留方式によってクセを抑え、飲みやすく仕上げています。

オススメの飲み方はロック。どんな料理とも相性バッチリな焼き芋焼酎を今日の晩酌にいかがでしょうか。

焼き芋焼酎「恋どろぼう」

【500ml】2,200円(税込)



農業法人ファゼンダ
 代表取締役
 門馬 亮太さん



おすすめは
 ロックどうぞ!!

取扱店舗

いわき・ら・ら・ミュウ
 道の駅よつくら港
 田舎んぼ
 福島県観光物産館(コラッセふくしま1階)

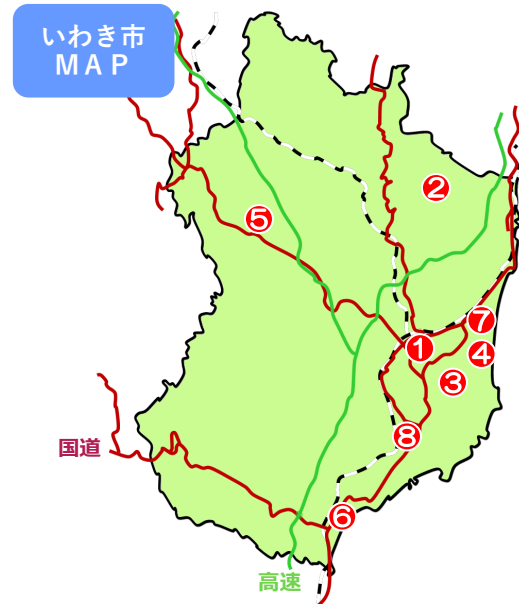
販売元・お問い合わせ

農業法人ファゼンダ

📍いわき市小名浜玉川町南6-10 ☎080-9633-9672

今月号に掲載した場所はこちら！

- ① マルトSC平尼子店 (p.1)
平字尼子町3-1-1
- ② 千軒平ため池 (p.3)
四倉町八茎
- ③ 中央台公民館 (p.3)
中央台飯野四丁目5-1
- ④ ブルーベリーファームいわき (p.4)
平藤間中谷地17-1
- ⑤ 市立三和小学校 (p.5)
三和町下市萱字竹ノ内228
- ⑥ 市立錦東小学校 (p.5)
錦町鷺内64-5
- ⑦ Delica Cafe Kibaco (p.8)
平下神谷下川原103-2
- ⑧ 農業法人ファゼンダ (p.11)
小名浜玉川町南6-10



【トルコギキョウの出荷が始まりました】※表紙の写真について

いわき市内ではトルコギキョウの出荷が最盛期を迎えています。

現在出荷している切り花は、昨年の12月に植えたものです。冬越しのトルコギキョウは、じっくり根を張らせながら、寒さに耐えて育ちます。そのため、茎が太く、ボリュームもある、高品質な花が出来上がるんです！

(農業振興普及部)



あとがき

本格的に夏が始まり、すっかり夏バテ気味となっている担当ですが、暑さが辛いのは植物も同じ。昨年は猛暑の影響で全国的にお米の一等米比率が大幅に低下しました。自身の健康と農作物の管理に一層のご注意を。

「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンに来てくださった皆さまありがとうございました。今回はトマト料理の実演・試食が大変好評でした。今後も色々な形でキャンペーンを行う予定なので、楽しみに！

(担当Y・W)

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地
(県いわき合同庁舎 3階)

T E L (0246)24-6152 F A X (0246)24-6196

U R L <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>



いわき農林水産ニュース